

議会だより

No.125
2024.8.1 発行

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



表紙の作品

第5回観光協会観光フォトグランプリより

題名『遂に滝ノ入に到達！』

撮影者：増田 裕二さん

撮影場所：ゆずの里オートキャンプ場

2P 6月議会ではこんなことが決まりました
3～4P 請願審議
5～11P 一般質問 13名登壇

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

6月議会ではこんなことが決まりました!!

令和6年第2回6月定例会は5月31日から6月11日までの12日間の会期で開催されました。今定例会に提案された案件は、専決処分の承認4件、条例の一部改正3件、補正予算2件、人事1件、請負契約の締結1件、報告2件、請願2件、合わせて15件が上程されました。また、3月定例会で閉会中の継続審査になっていた請願1件があり、慎重審議を行いました。一般質問は13名の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

キャッシュレスポイント還元 予算などが増額されました

今回の補正予算（第2号）では、国の政策として全国的に実施される定額減税や調整給付、そして令和6年度低所得者世帯に対する支援給付金並びに子ども加算などの予算が計上されました。また、昨年度に実施したキャッシュレスポイント還元事業（第2弾）が好評だったため不足分の追加予算や児童手当の制度改正に伴うシステム改修費等が計上され、総額3億5730万4千円の補正予算が可決されました。

主な質疑

Q キャッシュレスポイント還元事業者は第2弾もペイペイだけなのか。

A 業者選定においては第2弾もペイペイのみ採用している。プロポータル方式で、ポイント還元率が多く、事務手数料が少ない提案があり、キャッシュレス利用ができる町内店舗が一番多いのが理由である。

Q キャッシュレスポイント還元事業の決済総額はいくらか。町民と町民以外のデータは採れたのか。

A 決済額（売上）は4億3992万5686円であった。データは秘密保持契約もあり採れていない。

国から要請！ マイナ保険証促進予算

歳出においては、厚生労働省からの要請に伴い、加入者情報等を通知しマイナ保険証の利用を促進するための費用として、330万6千円を追加し、歳入においては、社会保障・番号制度システム整備費等補助金及び保険給付費等交付金の合計で同額の330万6千円を追加しました。

討論 私は反対します

岡野 勉 議員
マイナンバーカードのシステム改修に町民の貴重な税金を注ぎ込んで、利用率は依然として不人気であり6%止まりだ。その上、町民の大切な・いのちを守る紙（現行）の保険証を国民・町民の声を聞き入れることなく、12月には保険証を廃止するとしている。これは町民の健康・命を守る毛呂山町の福祉と医療の町に反する行為だ。

体育館にエアコンが入ります

工事名
小中学校体育館空調設備設置等工事
(毛呂山中学校区)
施工箇所
毛呂山小学校・泉野小学校・毛呂山中学校
請負金額
1億5925万8千円
請負事業者
クボタ設備株式会社
入札方法
制限付一般競争入札

※川角中学校区の入札は不調に終わりましたが、7月臨時会で可決されました。詳細は次号に掲載します。

討論 私は賛成します

堀江 快治 議員
私は現在の小・中学校の長期存続をすべきであるという角度から、その為にも次代を担う子ども達のより良い教育環境づくりはもちろんのこと、さらに自然災害等に際して避難所としての機能向上並びに環境改善のためにも賛成する。

長瀬 衛 議員

小学校廃校反対の立場である。従って、いつ起こるかかわからない自然災害時の避難所や夏季授業の子ども達の良好な教育環境整備のために体育館への空調設備設置に賛成である。ただ、財源となる交付税充当の事業債の内、30%は町負担となることから、応札業者が1社となったことは、競争原理が働いておらず残念である。



請願の要旨

町議会で未審議の事項があるので審議するよう求めます。

請願の理由

政府の「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、文部科学省は令和3年3月、今後5年間における更なる長寿命化対策の取組を推進するため、計画を改定しました。

これによると、国公立学校施設を対象とし、令和3年度から令和7年度までの期間に、①他施設との複合化を検討、②民間の資金等の活用を検討とあります。

ところが、毛呂山町の公共施設等総合管理計画および個別施設計画に基づき現在進められている学校集約は、上記の①と②が議会で審議されていません。今後も学校集約を進めるならば、上記①と②を審議することは必須であり、これを審議しない町議会および議長以下議員は職責を果たしていない職務不履行です。

したがって、審議を尽くした上で学校集約を進めるよう町議会に求めます。



A

説明の通りだ。

Q

インフラ長寿命化基本計画によると、「小規模校には社会性の育成に制約が生じることをはじめ、教育指導上多くの課題が存在している。今後各地において学校の適正規模、適正配置等の検討を進めていくことが課題である」と記載されている。これに賛同されたのか。

A

国の長寿命化計画に基づいて考えていくべきと自身が納得し、請願内容に賛同した。

Q

請願の紹介議員になった理由は。

本会議・議会運営委員会での
紹介議員への主な質疑

趣旨採択 主な理由
議会は研究を重ね、本格的に審議していく。

※趣旨採択とは

請願の願意は十分に理解できるが、採択とすることに問題があると考える場合に採られる請願に対しての決定の方法であり、「趣旨には賛同である」という意味

本請願は、「議会並びに議員は、学校集約に関して審議を尽くしておらず、職責を果たしていない」としているが、町から学校集約についての議会提案はなく、議会がそれらを審議する機会は無かった。本年3月議会において、初めて提案された学校集約に関する予算の一部に対して減額修正案を可決し、同時に附帯決議を可決した。更に、全員協議会において、学校集約に関する議会独自の調査研究会を立ち上げることを全会一致で決定し、4月より議論をスタートさせた。今後においては、調査研究会の場で十分な議論を経た上で議会での審議を尽くし、毛呂山町にとって最良の学校教育環境の構築を目指すこととする。従って、請願理由とは必ずしも一貫性は認められないが、将来を担う子どもたちのためのより良い教育環境づくりを進めるといふ面においては、議会として異論がないものである。

提出者 毛呂山にもデマンドタクシーを実現する会 代表 山田 悠 氏
紹介議員 小野 浩

提出日 令和6年5月10日

請願の要旨

毛呂山にもデマンド交通(タクシー)を導入してください。

請願の理由

最近小さなお子さんを持つお母さんや、高齢者、また障がいを持つ人の移動手段としてデマンドタクシーが注目されています。主な外出目的は、通院、町役場、銀行、郵便局、買い物などです。買い物では、行きは歩いて、帰りは荷物が重くてタクシーを利用することが多い方や、80歳を過ぎて自分の子どもたちから「運転免許を返納」するように言われ、他の交通手段がなくて悩んでいるという声が聞かれます。町内循環バスは停留所から停留所ですが、デマンドタクシーの場合は「自宅→目的地→自宅」となります。循環バスと並行してデマンドタクシーも導入されると高齢者や障がいを持たれている方等の移動手段が格段に改善され、生き生きとした毎日の生活が送られると思います。ぜひ、毛呂山町にもデマンドタクシーを導入してください。

委員会での主な質疑

Q デマンドタクシーは何台の予定か。料金は。

A 1台。料金は500円。(紹介議員)

Q 官が民を圧迫するのでは。

A 地元タクシーと共存していく見通しがある。(紹介議員)

Q アンケート結果は。

A 定時定路線型が良いという回答が、デマンド希望の倍近くであった。(担当課長)

Q 紹介議員が想定する利用対象は。

A ・毛呂山町民
・65歳以上で、車の運転をしない方
・未就学児の保護者で、車の送迎ができない方
・身体及び精神疾患等の障がいのある方
・その他特別な事情により町長が認めた方
(紹介議員)



委員会からの意見

デマンドを否定してはいない。880筆の署名をつけての請願といふことは重く受け止めるが、10月から再度見直しを図ってより充実させようというタイミングからすれば、すぐにでも導入してほしいという趣旨には賛同できない。ただし、10月の運営運行見直し(※)を踏まえて、今後さらに高齢者や障害者の方々の移動手段がより改善され、少しでもデマンド式に近づけるよう町当局に努力をお願いする。

※令和6年10月からもろバスの運行形態が変わります。

主な改正点

- ・運行台数を3台から5台に増車する。
- ・定時定路線型の運行は維持するが、これまでの循環型から往復型を中心とした運行に変更する。
- ・停留所数は現在の58箇所から71箇所を増加する。

討論 私は賛成します

岡野 勉 議員
文句なく「もっとも」な請願であり賛成である。歩行が困難な方、高齢者、障害をお持ちの方々など通院、買い物、外出など、なくてはならない町民の足である。またデマンド交通(タクシー)は利用者の経済的負担軽減の手助けとなる。導入は5年後ではなく、中間見直しの3年後には導入できる下準備を進めるべきである。

小野 浩 議員
日本一やさしい町毛呂山を実現するためにも、5年後でなく、なるべく早くデマンドタクシーを導入していただきたい。



一般質問

町政を問う!

~13名が登壇~

- 教育・子育て環境の充実
- 骨髄バンク事業
- 公共施設の維持
- 鎌倉街道の保存活用

小峰 明雄

- ブラックホール型自治体
- 再生可能エネルギー事業
- 学校統廃合問題

堀江 快治

- 減少し続ける土木費の歯止め
- 塵芥処理費減少対策

佐島 啓晋

- 自立存続性のある町づくりに向けた取り組み

長瀬 衛

- 大谷木川の河川改修
- がん治療への対応

荒木かおる

- 観光資源の開拓で町の活性化を
- 認知症対策

千葉三津子

- 少子化対策
- 川角中学校付近交差点氾濫問題
- 森林環境譲与税およびカーボンオフセット

中村 奨平

- 個別課題の充実

岡野 勉

- 市町村森林整備計画
- 川角駅周辺整備
- 今後の町づくり

佐藤 秀樹

- 毛呂山町総合振興計画
- 人材育成
- 学校統廃合

平野 隆

- 町内の不登校の現状
- ヤングケアラーの現状
- 学校統廃合

小野 浩

- 毛呂山町立小中学校編成計画

高橋 達夫

- 熱中症特別警戒アラート対策
- ヒートショック対策

澤田 巖

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

毛呂小B棟3階トイレ改修は

使用状況を把握し検討



小峰 明雄

【答】 B棟も児童が使用する施設。担当課と学校で使用状況を把握し、検討していく。

【問】 連続115回通告数933問の一般質問。教育振興基本計画が3年経過。資質・能力を身に付けさせる教育環境と歴史・文化の継承と郷土を愛する心を育む活動の取り組み及び評価は。

【答】 自ら学び自ら考え問題を解決する資質能力の育成が図れた。

【問】 彩の国21世紀郷土かるた、教育長の所見は。

【答】 教育的な価値があると認識。

【問】 坂戸市鶴ヶ島市は4月から病児保育の無償化を実施したが。

【答】 埼玉医科大学病院や医師会に協力を要請し整備に努める。

【問】 骨髄移植ドナー制度、三芳町は助成日数10日間に。所見は。

【答】 制度拡大に向け検討する。

【問】 今後の外壁調査、見解は。

【答】 国土交通省のタイル外壁等の点検方法として打診検査、赤外線調査が例示されている。役場庁舎の場合は、特に高層階部分では、打診検査が必要。

【問】 庁舎エレベーターホール付近のタイルに部分的浮き等が生じている。改修は。

【答】 早い時期に対応する。

【問】 令和4年度までの公営住宅長寿命化計画の評価は。

【答】 多くの改修工事が未実施、計画の遅延が生じる。

【問】 史跡鎌倉街道上道の、今後の保存活用事業は。

【答】 保存活用計画が、全国モデルとなるように国の認定を目指して参る。児童生徒の誇りとなるよう文化資源を生かし、学校教育と連携して取り組む。



児童生徒の気持ちに寄り添った教育環境整備を

ブラックホール型自治体と指摘された見解は！

答 真摯に受け止め、強い危機意識を持ったもの



堀江 快治

性人口の減少率が60・3%と推計されたため。

問 地方交付税制度の中で生産年齢人口の減少に伴い町税の減収が予想されているが町の見解は。

問 本町がブラックホール型自治体に指摘された要因は。

答 出生率が低い点と、今後30年間で出生と死亡だけの要因で人口変化を推計すると、若年女

問 急激な少子化は町に大きな影響を与える。町の今後の人口減少対策は。

答 自然減の対策が極めて重要と考えており、若者世代に響くまちづくりを目指す。

再生可能エネルギー事業

問 給食センターの太陽光発電は、民間との電力購入契約というPPA事業で実施しているが、町直営との費用対効果は。

答 直営コストについては算出してはいるが、維持費用等のメリットがあるもの。

問 創成舎が再生可能エネルギー事業を中心に行っている理由は。

問 スマートシティ協議会の取組全般を担うため。

答 ペロブスカイト太陽電池の実用化等が目前に迫っている時に従来のパネルを20年間という長期間での契約としている理由は。

問 今後技術の進歩を見極めて導入方法等検討していく。

学校統廃合問題

問 住民合意が無い中で施設一体型に前のめりになっているが今年度の対応は。

答 機会を捉えて保護者に周知を図って行く。

土木費は今後も減少し続けるのか！

答 計画的な予算配分で実施する



佐島 啓晋

問 計画において重要な事業だと考えている。公共投資は批判される傾向にあるが、今後も土木費は減少し続けるのか。

問 平成20年度と比べて、民生費は80%、教育費は52%増と増加しているが、土木費は34%減少している。土木工事は地元企業の雇用安定化だけでなく、防

災面においても重要な事業だと考えている。公共投資は批判される傾向にあるが、今後も土木費は減少し続けるのか。

答 限られた財源の中から、緊急性、重要性といった優先順位に基づき予算編成を実施している。土木費は安全・安心なまちづくりの観点から重要な事業予算と認識している。今後の土木費は、川角駅周辺整備事業や水

害被害で大きな課題となっている旭台地区雨水対策事業など、多額の経費が想定されている。町内企業の育成や防災面強化の観点から引き続き計画的な予算配分を実施する。

問 塵芥処理費（ごみ処理費）は、令和6年度予算で約5億円が計上されている。埼玉県の平均再生利用率は約24%なのに対して、本町は約16%となっている。再生利用率の向上と焼却ゴミの減量効果は具体的にどのくらいか。

答 再生利用率の向上として自治会・PTAなどの団体を中心

に集団資源回収を行っている。令和5年度は20万9177kgの資源を回収した実績がある。生ごみの減量化なども生ごみ処理機キエーロの販売等で推進している。本町で焼却ごみを10%程度削減した場合には、埼玉西部環境保全組合の負担金が約2180万円程度の削減ができる試算となっている。ごみの減量化やリサイクルの推進は、地球温暖化防止の観点、町の財政的な面からも、さらなる取り組みを推進する。



緊急車両の入れない土砂災害警戒区域（小田谷）

毛呂山町の出生数



少子化が進行している毛呂山町

自立存続性のある町づくりへの取組

【答】 出生率向上に資する施策を優先する



長瀬 衛

の丈を超えた施策への評価であり、本町の抱える課題の深刻さを浮き彫りにしたもので、重大に受け止めるべきだ。「消滅可能性自治体」と「ブラックホール」どちらが深刻なのか。

【問】 全国で僅か25のブラックホール型自治体に毛呂山町が認定されたことはショッキングなことであり、これまでの諸施策が功を奏していない。同時に、身

【答】 それぞれ自治体の捉え方があるが、両者とも深刻であり、危機意識をもって、人口減少対策に取り組む。社会減対策と同時に自然減対策が極めて必要で

あり、出生率向上に資する施策を優先的に取り組んでいく。
 【問】 町長は常に、「町に住所を持たない学生等が多く、その特殊要件が出生率に影響している」と楽観的だ。
 ブラックホール型自治体も消滅可能性自治体もポイントは出生率である。5年に一度の国政調査時とその間では出生率はどうに変化しているのか。
 【答】 国調の年は国調人口でその間の年は住基人口で出生率は計算するが、それぞれの出生率は、国調が行われた平成27年が0・98で前年は0・86、令和2年は

0・76で前年は0・73だった。
 【問】 多くの自治会が存続の危機に直面している。区長会総会において、これまでになく切羽詰まった声が出た。自治会が機能不全に陥ると自立持続的な町づくりは難しい。相談支援体制の強化について聞く。
 【答】 具体的には、区総会資料や提出書類の確認、補助金活用、防災訓練支援等、区役員の負担軽減を図っていく。

合計特殊出生率の推移

年度	平26	平27	平28	平成29	平成30
人口根拠	住基人口	国調人口	住基人口	住基人口	住基人口
毛呂山町	0.86	0.98	0.87	0.85	0.76

年度	令1	令2	令3	令4
人口根拠	住基人口	国調人口	住基人口	住基人口
毛呂山町	0.73	0.76	0.75	0.68

出生率とは無関係な特殊要因

鶴舞橋の架け替え、チャンスを生かせ!

【答】 安全面の確保からもチャンスを生かして参りたい



荒木かおる

舞橋の架け替えを行う計画があると聞いている。架け替えには橋の位置や幅員の変更が必要。取付道路の築造と合わせて用地買収や工事のコストが多額となることが予想される。

【問】 大谷木川の改修に伴い幅員も狭く老朽化し、見通しの悪い鶴舞橋についても改修が見込まれる。ご見解は。
 【答】 県から河川改修と併せて鶴

【問】 鶴舞橋は以前から危険性が指摘されてきた場所。橋の架け替えは町の単独事業では実現困難。県の河川改修に付随して、鶴舞橋についても改修が見込ま

れる事は町として大きなチャンスと考える。ご見解は。
 【答】 河川改修と併せて鶴舞橋が改善されることにより幹線道路の安全面からも大きなメリットがある。チャンスを生かすべく県と密接に連携し事業を進めて参る。
 【問】 がん治療への対応
 【答】 県の今年度当初予算にアピランスクエア用具の購入費用や終末期がん患者の在宅療養費用を助成する市町村に対し、助成額の一部を補助する新規予算が計上された。これは町が実施していないと活用できない予算。

【問】 助成を行っている自治体を調査・研究しながら導入に向けて検討して参る。
 【問】 AYA世代の患者さんは介護保険制度が利用できず、負担が大きい。訪問介護や福祉用具の貸与・購入費用等の助成のご見解は。
 【答】 在宅サービスの一部助成は経済的負担の軽減だけでなく、患者を含めた家族全体の心のケアに繋がる。医療機関の相談体制を把握し、調査を行いながら導入に向けて進めて参る。



幅員が狭く見通しが悪い鶴舞橋

観光資源の開拓で町の活性化を

答 観光協会や民間業者との連携で活性化を図る



千葉三津子

問 近年の町の観光行政は、観光協会による施策が中心になっているように見受けられるが、町と観光協会ではどのような調整をしているのか。

答 観光協会から要望や提案を頂き、重要な事柄は文書を取り交わし話し合いで、人面や財政面で相互連携を図っている。

問 入込観光客数を増加させるためには、単に待っているのでは寂れていくだけだ。全国的にも観光地には多くの人が訪れている状況が報道されている。今が、攻めの時だと思いが如何か。

答 民間事業者との連携を図り、

観光協会と強力なタッグを組み成功裏に導けるよう努力したい。

問 町の観光計画を伺う。

答 総合振興計画の実現に向けて進めているが、新たな施設整備に偏らず、官民連携で地域の実情を反映した方針を検討する。

問 シティプロモーションは、観光面で重要な施策だと思いが、現在までの成果を伺う。

答 ホームページ等での情報発信やもろ丸くんのインスタグラムの活用でイベント参加を発信。パンフレットを坂戸駅や川越駅の置き場及び川越まつり会館の置き場に並べ集客に努めている。

認知症対策

問 認知症は、早期発見・早期対応が重要だが、町の今後の取り組みを伺う。

答 定期的な受診機会の確保やゆづっこ元気体操の安定的運営、気軽に通えるサロン活動の充実等を図る。

問 スクリーニングの課題について伺う。

答 早期の認知症の方を対象としたアルツハイマー病の薬が保険適用になった。今後は集いの場でトランプ等を使ったセルフチェックの導入もして参りたい。

町長4期目、少子化に対する捉え方は

答 全力で取り組んでいる



中村 奨平

問 実質賃金24か月連続減、この計算に社会保険料増加は含まない。多くの食品が値上がりし、電気、ガソリン等の生活に必要なコストも大幅に上がった。持

ち家もない、資産はこれから築くという若者にとって賃金上昇が追い付かないインフレは非常に厳しい。生存権を守るはずの基礎控除は給与所得者には引き上げられず。そのような中、どうやって子どもを増やせというのか。人口の奪い合いである自治体間競争を町がしたくないというのであれば、私が再三申し上げている毛呂山町に縁があっ

て住んでくれている町民を大切に、保育園第2子完全無償化や先輩議員提案の第3子出産100万円給付等の多子をもうけて貰えるような直接的支援が必要ではないか。

答 議論していきたい。

川角中学校交差点氾濫問題

問 剥落の危険性がある庁舎はいち早く工事し、子ども達の安全は後回しにされ、今年度も予算化されなかった。なぜ整備しないのか。

答 下流から整備し、効果を見定めている。不十分である場合は更なる対策を実施する。

森林環境譲与税

問 町がカーボンニュートラルを達成すると国からインセンティブがあるのか。

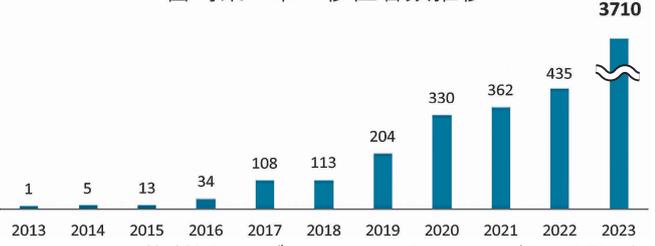
答 現時点では交付税等への影響はない。

問 木材需要を民間だけでは作れない現状に対して、官が需要を作り出す必要がある。例えば木質バイオマス発電、副産物の排熱を暖房として各家庭に届けたり、公衆浴場に利用出来る。このような取組も必要では。

答 間伐材などを上手に利用し、研究していく。

A市による、2023年度に移住すると最大500万円。多くの子育て世帯が移住した。さらに第1子から全児童保育料無償化などさまざまな子育て施策を打ち出しており、年々右肩上がりであった。

宮崎県A市の移住者数推移



いつまでも国や特殊性のせいばかりにしていられない。どうする毛呂山



自然豊かな観光資源を生かして

学校給食費の無償化、毛呂山の子ども全員だ！

答 対象外の児童生徒は51名いる



岡野 勉

問 町は、令和6年4月分より子育て世帯の方々の負担軽減を図ることを目的に、町の独自支援策として、町立小中学校に在籍する児童生徒分の学校給食費

の無償化を実施するとした。なお、私立の小中学校、県立毛呂山特別支援学校に通う児童生徒については対象外であり、改めて「検討する」との答弁であった。検討結果をお聞きする。また、学校給食の留意点として、食材の品質（有機食材・無農薬・地場産）の確保は、どう前進させるのか。前回時間の関係で詳しい答弁が聞けなかった

のでお聞きする。
答 給食費の無償対象者は、町立の小中学校在籍者とさせて頂いた。議員ご指摘の通り、町立以外は対象外となっている。県内で同様の施策を行っている自治体の状況を鑑み今後どのように進めていくべきかを決定する予定である。
問 町の総児童・生徒数、そして対象外となる児童・生徒数は何名をお聞きする。
答 小中学生の総数は1747名。対象外の児童生徒数51名。
問 無償化の対象は毛呂山の児童生徒全員にすべきだ。

答 充分検討する。
問 重度心身障害者の社会生活圏の拡大に資する「自動車燃料費助成」事業だが過去に突然廃止された。「障がい者の権利条約」は「私たちのことを私たちは抜きで決めないで」と謳う2006年「国連で採択」2014年「日本政府批准」した。今日、聴覚障がい者の方々が議場に見えている。近いうちに、是非とも話し合いを持って頂きたい。
答 話し合いを持ちたい。

積極的な政策を考えるべき

答 所有者に林業経営者などを紹介していく



佐藤 秀樹

問 民有林や現在保有している町有林に対し今後の有効活用をどの様に考えているのか。
答 現在森林所有者意向調査を行っているが、結果を踏まえて必

要な施策を森林環境譲与税や森林の少ない自治体と協力して森林整備を行っているよう働きかけをしている。
問 どのような働きかけをしているのか。
答 都市部自治体に町の森林の整備費用の一部を負担して頂き、森林環境教育やレクリエーションなどの活動ができるよう、「埼玉県山とまちをつなぐサポート

センター」へ意向書を提出し、マッチングを働きかけている。
問 より森林活用の為には、官民連携が必須と考える。木質チップや薪を取り扱う企業等にも働きかけをするべきでは。
答 所有者に林業経営者を紹介するなど民間との連携をとりながら森林の管理に努めていく。
問 川角駅周辺整備
答 4月より課長が異動になった。引き継ぎ等もあった中、現課長が考える川角駅周辺整備の考えを伺う。

重要な課題であると認識している。まずは南側駅前広場と
問 今後のまちづくり
答 町の上位計画である総合振興計画にどのようなまちづくり整備課の魂を吹き込んでいくつもりなのか。
答 地域の活性化を検討するエリアを見直すべく検討している。実際に土地利用を進められるよう、手法や手順を検討していく事が、魂を吹き込む事と考える。



民有林・町有林の有効活用を願う



いつもおいしい給食をありがとう（学校給食センター）

総合振興計画は

答 町の最上位計画である



平野 隆

問 第六次総合振興計画の進捗状況を伺う。

答 昨年度は人口推計報告書、財政分析報告書、住民意向調査報告書などの基礎調査を実施し、

骨子案まで作成した。今年度は、実際に基本構想と前期基本計画を策定していく年となり、課長職で構成している策定委員会や実務担当職員で構成する検討委員会、そして各プロジェクトチームにおいて計画の各論部分について検討作業を進めているところである。

問 次期計画の方向性は。答 計画期間の10年間で目指す

毛呂山の将来像を「みんなであつくる 住みやすいまち 住み続けたいまち もろやま」と設定している。新たな取組として少子化対策に重点を置いたリーダーシッププロジェクトを設定し、課題解決に全力を注ぐ。

人材育成

問 優秀な人材の確保、町の所見を伺う。

答 町職員の採用は、採用試験の応募をLINEで可能にするなど幅広い人材が応募できる環境を整えており、適切な選考方法により優れた素質を持つ人材の確保に努めている。

問 職員のスキルアップ、町のご所見を伺う。

答 彩の国人づくり広域連合の研修を活用し、職務に応じた各種研修への参加を促し、時代に即したスキルを身に付け、向上心を持ち技術や知識を身に付けるよう努めている。

学校統廃合

問 統廃合のデメリットは。

答 通学距離が長くなるためスクールバス導入が必要。

問 住民説明会は。答 スクールバスの対応やPTAのあり方などを説明。

不登校の現状を伺う

答 小学校17人中学校58人



小野 浩

問 不登校児童生徒への対応。

答 教室への登校が難しい児童生徒については相談室や保健室などへの登校や放課後登校できるところを提供している。

問 ヤングケアラーの現状と対応について伺う。

答 ヤングケアラーとは高齢や障がい等により援助を必要とする親族等に対して、無償で介護や日常生活上の支援を行う方のうち18歳未満の子どものこと。国の実態調査（小6が6・5%

中2が5・7%）をもとにする。中2が5・7%）をもとにする。と小6、中2それぞれ12名程度と推計される。相談窓口を福祉

課、高齢者支援課、子ども課に設置している。

問 指定緊急避難場所は体育館だけではなく敷地全部では。

答 各学校のグラウンド及び体育館を指定緊急避難場所として指定している。校舎等の利用は教育委員会及び学校長と協議して使用する。

問 教育環境を整える為に整備してきたのに、数年後に廃校にするのは税金の無駄遣いでは。

答 児童生徒の安全・安心及び教育環境充実のため必要な事業が必要な時期に実施してきた。

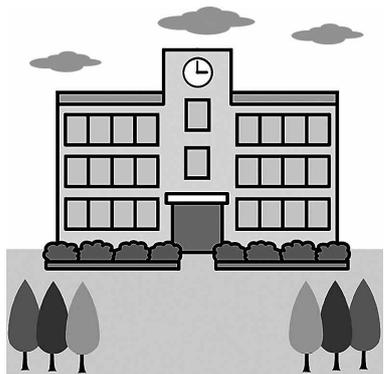
問 子どもの意見をどのように

集約するのか。答 小中一貫教育の取組を体験した児童生徒に意見を聴く方法で検討している。

問 3月議会で「待った」がかかったのになぜ教育委員会はぐいぐい押してくるのか。

答 教員同士の連携がしやすくなり中学校教員による小学校での乗り入れ指導を充実させることができる。

問 越生町梅園小のいじめと不登校の現状について伺う。答 把握していない。



学校でも楽しい時間を過ごしたい



町の財政健全化を

川角中を施設一体型小中一貫校にする要因は

答 小・中学校間の距離が近いことが好ましい



高橋 達夫

問 教育は、政治的中立性と継続性・安定性が強く求められ、首長から独立した執行機関として教育部署が存在する。

答 計画策定に関し、これまでの教育委員の意見は。

問 教育委員会の職務権限として毛呂山町立小中学校編成計画が示されたが、町には独立した部局として教育部署が置かれて

答 未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針を教育委員との協議を経て策定し、「施設一体型校舎」を推進することは論議が尽くされて

おり説得力があるという意見をいただいている。

問 光山小・川角小を廃校にし、川角中学校舎に施設一体型小中一貫校にするに至った決定的要因は。

答 学校教育においては、児童生徒に確かな学力をつけ、豊かな人間性等を育むことが重要であり、児童生徒数や教職員数に適正な規模が保たれることが必要である。次に小中一貫教育を進めるうえで、施設形態も重要な要素である。児童生徒が交流するためには、児童生徒が往來しやすい環境が望ましく、小・

中学校間が近いことは小中一貫教育にとって好ましい施設形態になる。

問 更に小学校においては教科担任制の強化などによる教育環境の充実・異学年理解や協働学習の促進などによる児童生徒の交流が図られる。このようなことから施設一体型および施設隣接型小中一貫校を整備することにより児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、切磋琢磨することができる教育環境になることが決定的要因である。

熱中症対策、万全な受入体制を！

答 出来ることに最善をつくす



澤田 巖

問 体では冷房設備を備えた公共施設を一般開放するとの情報があるが毛呂山町の対応はどうか。

答 クーリングシェアセンターとして毛呂山町役場・中央公民館・東公民館・保健センター・図書館を開設予定である。

問 民間企業の協力はあるのか。

答 町内のウエルシア薬局の協力を得ており朝9時から夜7時を基本とし2〜4名の受け入れ

が可能。休憩スペースのある店舗では12名の受け入れが可能。

問 熱中症のリスクの高い高齢者に情報が伝わる事が大切である。その周知方法などの対策は。

答 防災行政無線による情報を中心となるが、チラシやホームページへの掲載による注意喚起、家族や地域福祉に関わる関係者等の見守りや声かけ等の共助が出来る環境作りを同時に推進していく。

問 繰り返し繰り返し情報提供等を希望するが。

答 行政として出来る事に最善を尽くしていく。

ヒートショック対策

問 屋内と屋外の温度差により血圧が上下動し、最悪の場合死亡するケースがあるヒートショック。未然に防げる策があるはずだが。

答 日頃よりウォーキングやサイクリングなどの有酸素運動を行い身体の血圧調整機能を強化する。毛呂山町では「健幸づくりのまち宣言」のもと「健康ウォーキング事業」を中心に有酸素運動等の効果等を検証しながら町民健康増進を図っていく。

熱中症 特別警戒アラート

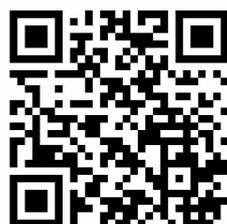
全道の国民において熱中症予防行動の徹底が必要です。

熱中症特別警戒アラートとは

- 全国的に過去に例のない高温多湿の夏日により、熱中症急増の危険が懸念されています。熱中症の発生が急増する恐れがあるため、全道で熱中症特別警戒アラートを発令いたします。
- 熱中症には、発症初期の全ての患者が救急搬送施設において救急治療が受けられ、重症化の恐れがあります。

熱中症予防行動

熱中症予防情報サイト



熱中症予防情報
環境省

こまめな水分補給と定期的な小運動を！



川角中学は、施設一体型小中一貫校になる計画

人事

◎固定資産評価員

高木 洋 氏

毛呂山町岩井西

昭和46年9月生

傍聴にお越しください!

町議会では、定例会が年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。定例会、臨時会のいずれの議会も公開されています。町政の運営状況や議員の活動状況、議会の様子を知る良い機会ですので、ぜひ気軽に傍聴にお越しください。

傍聴席

6月定例会傍聴者数	
本会議日	傍聴者数
5月31日(金)	0名
6月 3日(月)	22名
6月 4日(火)	21名
6月 5日(水)	32名
6月 6日(木)	0名
6月11日(火)	0名
合 計	75名

●議案の審議結果（6月定例会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案		議員名	中村 奨平	佐島 啓晋	小野 浩	平野 隆	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かおる	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	下田 泰章	審議結果	
専決 処分	税条例、都市計画税条例、国民健康保険税条例等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
一部 改正	税条例、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、毛呂山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	一般会計（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正 予算	国民健康保険特別会計（第1号）		○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	原案可決
	小中学校体育館空調設備設置等工事（毛呂山中学校区）請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
契約	小中学校体育館空調設備設置等工事（毛呂山中学校区）請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
人事	固定資産評価員		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
請願	未審議事項を審議するよう求める請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	趣旨採択
	「毛呂山にもデマンド交通（タクシー）の導入」を求める請願		×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	議	不採択	
	農業委員の任命過程を明らかにするよう求める請願		生活福祉常任委員会へ付託														閉会中の 継続審査	

パリ五輪出場 瀬戸大也選手 にエール

パリ2024オリンピックに出場する瀬戸大也選手にエールを送るため、応援動画の撮影に参加しました。



お詫びと訂正
令和6年5月1日発行の「議会だより」124号、3ページ下段、水道事業会計の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。
誤 一般会計繰入金など
正 企業債など

あとかき

私達が目指すべき政治は、まず国家あり、産業ありという発想ではなく、額に汗して働く人々や地道に生活している人々がいかに平和に安心して豊かな暮らしを送ることが出来るかを発想の中心に置く政治、すなわち「人にやさしい政治」であります。

この言葉は、村山元首相がちょうど30年前に行った、所信表明の冒頭部分です。

日本はバブル経済が崩壊した後、経済重視の政策を続け、個人的つながりを犠牲にしてきたことは間違いありません。

その反省を活かしながら「日本一やさしい町毛呂山」を町民の皆さんと築きあげていける議会だよりを今後も編集していきます。

佐島 啓晋

編集委員

- 委員長 澤田 巖
- 副委員長 荒木 かおる
- 委員 中村 奨平
- 委員 佐島 啓晋
- 委員 小野 浩
- 委員 佐藤 秀樹
- アドバイザー（議長） 下田 泰章